

報 道 各 位

ポシドニア2018展示会参加報告

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団助成事業として、6月4日（月）から6月8日（金）までギリシャ、アテネにて開催された国際海事展「ポシドニア2018展示会」に日本船舶輸出組合と一般財団法人 日本海事協会とともに「日本パビリオン」を形成し、当会山田信三会長、小野正治副会長（グローバル戦略検討委員長）、木下茂樹副会長及び藤原克彦副会長をはじめ会員企業14社と共に参加した。主催者発表によれば、会期中約22,000名の来場者があり、入場口付近に設けた日本パビリオンはギリシャ船主をはじめ多くの欧州等の海事関係者で賑わった。また、海運・造船マーケットの底入れ感により、2年前の前回展示会よりも会場の雰囲気明るくなったとの声が多く聞かれた。

展示会初日には、在ギリシャ日本国大使館・清水大使、日本船舶輸出組合・村山理事長、一般財団法人日本海事協会・富士原会長、一般社団法人日本造船工業会・加藤会長及び当会山田会長による日本パビリオン開場テープカットを行った。また、主催者によるオフィシャルオープニングセレモニーにはギリシャ首相 Alexis Tsipras 氏が来場した。

展示会2日目には、展示会場にて日本船舶輸出組合との共催によるセミナー「海のイノベーションー環境と技術の新展開ー」を開催したところ、ギリシャ船主を中心に170名を超える参加者を得た。セミナーの第一部では、会員企業7社及び我が国造船会社3社が省エネや環境をテーマにした製品紹介を行い、第二部では、当会藤原副会長に加え国土交通省や日本海事協会、ギリシャ船主協会代表などにより、最近の新造船市場や環境への取り組みに関するパネルディスカッションを実施した。

展示会3日目には、日本パビリオンを訪問したウクライナ工科大学で海事産業を学ぶ大学生30人に対し、日本船用工業の現状や今後の取り組みに関する説明を行った後、同学生が会員企業ブースの見学を行った。

展示会4日目には、ギリシャ船主協会（Union of Greek Shipowners）へ小野副会長及び会員企業6社が訪問し、当該企業の製品・サービスの最新動向に関する情報提供を行い、ギリシャ船主と交流を図るとともに活発な意見交換を行った。ギリシャ側からは、我が国船用製品の品質やサービスを高く評価する一方、技術サポートに関する国際ネットワークの強化をさらに進めてほしいとのコメントがあった。また、当会からは、ギリシャ船主はかねてより我が国船用工業にとって重要なユーザー顧客であるため、今後とも同協会との意見交換を続けて行きたい旨を述べた。

〔展示会出展者及び来場者数〕

出展者数 : 2, 011社以上（92ヶ国・地域）

来場者数 : 約22, 000名

当工業会出展者数 : 14社

（スペース出品）10社

（株）東化工、JFE エンジニアリング（株）、（株）ジャパンエンジンコーポレーション、
商船三井テクノトレード（株）、ダイハツディーゼル（株）、富士電機（株）、富士貿易（株）、
三菱重工マリンマシナリ（株）、ヤンマー（株）、横河電子機器（株）

（パネル出品）3社 : （株）シンコー、東部重工業（株）、眞鍋造機（株）

（カタログ出品）1社 : 中国塗料（株）

以 上

清水在ギリシャ日本大使表敬の様子



(中央) 清水康弘在ギリシャ日本国大使
(右から4番目) 山田信三当会会長
(左から2番目) 木下茂樹当会副会長
(右から3番目) 小野正治当会副会長
(左から1番目) 藤原克彦当会副会長
(右から2番目) 安藤昇当会常務理事

日本パビリオンテープカットの様子



左から日本造船工業会・加藤会長、日本船舶輸出組合・村山理事長、清水大使、当会・山田会長、日本海事協会・富士原会長

展示会場の様子



ウクライナ工科大学の大学生に対し、安藤常務理事が日本パビリオンを説明



6月5日開催のセミナーの様子



ギリシャ船主協会 (Union of Greek Shipowners) 訪問の様子

<Union of Greek Shipowners 出席者>

Mr. Dimitrios Fafalios, Member of Board of Directors
Mr. Elias Sampatakakis
Mr. Ioannis Kourouniotis
Mr. John Andreopoulos

<J S M E A 出席企業>

小野正治副会長 安藤昇常務理事 ダイハツディーゼル(株) 富士電機(株) 富士貿易(株) 三菱重工マリンマシナ
リ(株) 商船三井テクノトレード(株) ヤンマー(株)

